

広報

あおだい

1989年9月16日号(No.493)

■編集と発行 大館市役所総務部企画調整課

—「小さな親切」実践宣言都市—

交通事故・件数	28件(155)
傷者	46人(208)
死者	1人(5)
火災・件数	3件(20)
救急・回数	83回(605)
()内は	1月からの累計

市の木・秋田杉 市の花・キク



9月5日下川沿地区敬老会から

みなさん お若いですね

わがまちの情報案内

市では2台の電話を使って、各施設などで行われる1週間分の行事や情報をお知らせするテレホンサービスを実施しています。どうぞご利用ください。

◇文化・体育情報は

☎43-2211

◇市の各種行事は

☎43-3300

「夕方六時半ごろから花を咲かせ始めて、翌日、日が当たると閉じていきます。ちょうど通りに面したところに植わってますから、歩いてる人たちがよく立ち止まって『きれいですね』と言ひながら見ていりますよ。」

竹内ハナさん
(常盤木町)



朝鮮朝顔

“花の好きな方を募集”——広報「花歳時記」に登場していただく花の好きな方を募集しています。自薦、他薦を問いません。どうぞ広報統計係(☎49-3111内線268)へお知らせください。

市議会 9月定例会行政報告



○「米の日」事業

今年から、八月十八日を

穂数は平年並みで、出穗期は平年比で二、三日早まつたことから、平年作が期待されます。しかし、稻の一生で特に水を必要とする減数分蘖期及び出穗開花期に当たる期間に、四十七日間もの無降雨状態が続いたため、一部の田では減収や品質低下を免れないものと心配しています。

干ばつ対策については、土地改良区、水利組合等を通じながら、番水制、井戸の掘削、ポンプ揚水等あらゆる手立てをしていただきました。市としても、県の干ばつ応急対策事業に併せて、助成措置を講じました。

○稲の生育状況
「米の日」事業
七月以降、高温多照状態が続いたことで、それまでの稲の生

育の遅れが一気に回復しました。穂数は平年並みで、出穗期は平年比で二、三日早まつたことから、平年作が期待されています。

建設省は昨年五月、全国で交通渋滞実態調査を実施し、渋滞対策緊急実行計画を策定しました。当市の関係では、桂高校前交差点、市立総合病院前交差点ほか四カ所が計画に盛り込まれています。

特に、桂高校前交差点については短期計画に盛り込まれておらず、バスレーンの拡幅と地下道の建設が決定されています。建設省では、去る八月十一日地権者説明会を開催。地権者から測量についての同意を得ています。計画では、今年度から用地買収

六日、「火と音と光の競演」を行いました。また、八月十二日から十八日までのうち六日間、二階建てバス「ハチ公号」の市内運行が行われました。これは、今年四月に民間団体が中心となり発足した、「大館まちづくり協議会」の行動第一弾として行われたものです。延べ五千人の皆さんに乗車し、いつもとは一味違う目線で大館の街並みを見ることができだと思います。

大文字まつりが成功のうちに終了することができたことは、ひとえに関係各界の皆さんのご支援、ご協力によるものであり、改めて感謝を申しあげます。

人間は一人(孤独)では生きていけません。特に年寄りにとってはそうでしょう。お年寄りたちが孤独にならないためには、自ら努力をして社会参加することが最善の策です。積極的な参加をお待ちしています。

だれの詩であったでしょうか、「出づる月を待つべし、散りし花を追うべからず」を思い出します。つまり、先々に思いをはせることこそ大事であり、昔のきれいな花、過去にだけこだわっていたら、心身共に老化を助長するということでしょう。

最近、お年寄りの交通事故死が増えてます。お出かけの際は、くれぐれもお気をつけて。

「米の日」を通して 地域農業を活性化

'89大館大文字まつり

に入り、平成四年度までに工事完了となっています。

'89大館大文字まつりは八月十日、「火と音と光の競演」を行いました。

また、八月十二日から十八日までのうち六日間、二階建てバス「ハチ公号」の市内運行が行われました。これは、今年四月に

市長メモ



No.17

出づる月 散りし花

9月23日は 交通安全市民大会

—9月21日～30日・秋の全国交通安全運動—



今年も「交通安全誓いの火」
が、下川沿、花矢、長木、十二
所の四方面から交通安全市民大
会の会場へ向ってリレーされま
す。下川沿方面は田代町役場付
近から、花矢方面は白沢の中渡
橋から十二時四十分スタート。
長木方面は大館製作所前を十三
時二十五分に、十二所方面は十二
所上町の松下商店前を十二時三
十分にスタートし、長木川市民
ひろばへ十四時に到着する予定
です。誓火ランナーへのご声援を
お願いします。

盛りだくさんの イベント

▽8時30分
・交通安全ゲートボール大会

▽9時
・交通安全ことも自転車競技
大会
・交通安全かかしコンクール
・交通安全看板コンクール

▽10時
・交通安全綱引き大会
市内をリレー

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十三日、「交通安全市民大会」が長木川市民ひろば野外ステージ付近で開かれます。この日は、子ども自転車競技大会や綱引き大会、ダミーを使った衝突実験などが行われるほか、ミニSL乗車コーナーや農産物展示即売コーナーなども設けられますので、家族そろってご参加ください。

交通安全誓いの火

- ▽14時
・交通安全誓いの火を誓火台に点火
- ・交通安全市民大会式典（チビッコ警官による交通安全誓いの言葉ほか）
- ▽14時55分
・ダミー（人形）を使った交通事故の実験
- ▽15時15分
・交通安全市民パレード（県警吹奏楽団を先頭に、栄町から新町までパレードします。クラッショウカーや子供みこしも参加します）

（楽しいコーナーもあります）
十五歳以上のお年寄りで、死亡した人のうち約半数（二百三人）が六十五歳以上の「お年寄り」でした。これは、今一月から五月末までの統計ですが、これを昨年の同じ時期と比べると、なんと五〇%も増えているのです。また、二輪車乗車中の死亡事故も増えています。

警察庁によると、今年の全国の交通事故による死者は、六月二十八日現在で五千二十四人となり、昨年より十三日も早く五千人を超えました。ちなみに昨年は、年間の死者数が十三年ぶりに一万人を突破したのですが、今年は昨年よりも速いペースなので注意が必要です。

目立つて多い 自転車での事故

ところで、最近の事故の特徴は、お年寄りの交通事故死が急増していることです。

特に目立つのは、



そこで、自分自身が交通ルールを守っているかどうかを考えることです。たとえば、道路を渡るときに、近くに横断歩道があるのに手前で横断していくいか、また、ななめに横断していいないかどうか……と。

市内生活課内「市交通安全対策協議会」事務局

49(3111) (内線247)

お年寄りの交通事故死が急増

ます。

いつまでも若いつもりが……

最近のこのような傾向に歯止めをかけるために、お年寄りの皆さんはどうなことに気をつければいいのでしょうか。

気持ちはうえでは若いつもりでも、やはり年齢とともに体力や運動能力は、若いときに比べて落ちるもので反射神経や敏捷性についても同様です。

また、視力や聴力も若いときと同じというわけにはいかないことが多いようです。このへんのところを冷静に考えてみると、大事なことはないかと思われます。

交通ルールを再確認しよう

これらの原因としては、今年始めごろは温暖な日が多く、自転車やオートバイを利用する機会が多くなったためと考えられ

ドクターブラントン通信

病院給食の意義

市立総合病院栄養科部長

岡 庭 信 一

同 技師長 三 澤 重 夫

わが国の近年における医学、栄養学の進歩はまことに顕著であるが、それにもかかわらず成人病である慢性疾患は年々増加の一途をたどっている。特に小児成人病など、成人病の若年化といった新たな問題が生じてきており、多くの成人病の発生には食生活が密接に関係していると考えられる。

エネルギーを過剰摂取すると肥満、糖尿病になりやすく、高脂肪食は動脈硬化症や心疾患の発病を促す。しかし一方では、豊かな食糧事情の中には欠乏症を起こすなど、食事の欧米化によって今まで見られなかつた疾患が増えてきた。がんとさえ食事と発生頻度とが関係している。病院給食は疾病に即した治療食を給与することを目的とし、医療の一環としての重要な使命を有するため、常に治療食事を研究開発し、近代的で科学的な管理、合理的な運営が望まれる。病院給食の立場でみると、病気には食事療法そのものが治療

の基本となる疾患と、他の治療効果を高めるための補助的手段となる疾患との二種類がある。前者は内科疾患、それも慢性疾患に多く、特に肝臓病、じん臓病、糖尿病などは食事療法が治療の根幹をなすが、その効果を得るには正しい食事療法の長期実行が是非必要である。化学生理法や手術療法のように急速に効果が表れないため、軽視される傾向にあるが、慢性疾患そのものが長期治療を要するという

ことを十分認識すべきであろう。後者は、外科領域のものに多い。最近の外科栄養学の目覚ましい発達は、病態生理や病態栄養の解明を大きく進歩させ、術前、術後の栄養はその手術成果に重大な影響を与えるようになつてきただ。成分栄養や完全中心静脈栄養といった積極的療法が、手術成績の向上や手術後の回復状況などに大いに貢献している。

病院の食事は、単に病気を治すだけのためではなく、家庭での生活管理の方法を習得させる

(5)

意味も含んでいる。退院後の食事のモデルであり、有効な指導媒体、体で覚えるための貴重な手段でもある。したがって、家庭生活における食習慣と違和感を覚えさせるようなものであつてはならない。医療にあつても食事は基本であり、高度な医療を施しても、食事が日常生活と掛け離れているようでは片手落ちといえよう。病院内の食生活も日常生活のリズムに近付けることが望ましい。合理的な食事は、患者の体力を支えて病氣の経過を良好にし、回復を促進するものである。

以上のように治療食的重要性は高まってきており、疾患そのものに対する代謝を調節し、あるいは臓器を保護して疾病治療の効果を上げ、その後の臨床予後に対する影響が大きいことも認められてきている。高齢化社会への歩みの中で生まれた慢性疾患、成人病。その発症や進展の阻止、さらに予防の面からも、きめ細かな食事療法が要請されているのである。現在、夕食時刻の繰り下げや保温食器の使用など、適時・適温給食に努め、アンケート調査では好評を得ている。またさらに複数献立の導入についても検討中である。

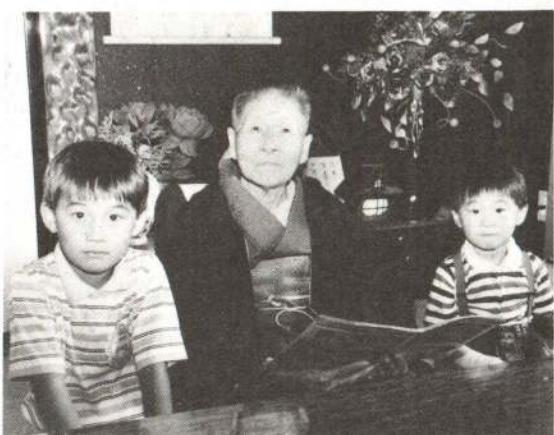
病院給食が治療の一端を担つてお分かり頂けたと考える。

渡部タエさん 100歳 訳迦内字長面袋1

明治22年3月15日生まれ。「腹が丈夫で何でも食べるから長生きしてる」とタエさんは言います。最近は脚が少し弱ったそうですが、今でも針仕事をしてますよ。



お達者ですね



明治22年5月1日生まれ。若いころは養蚕にこの人ありと言わされたスエさん。今は耳が少し遠いけれど、ひ孫たちに絵本を読んであげたり、一緒にテレビを見たりと元気です。

岩谷スエさん 100歳 花岡町字猫鼻10-6

第1回 東京きりたんぽ祭り



▲曲げわっぱ太鼓が
大館の“音”を披露



◆曲げわっぱ太鼓も聞きたいし、
きりたんぽも食べたいし……
下馬觀音寺境内は約五百人の人
出で大にぎわい



本場大館のきりたんぽと大館の観光PRを兼ねて、八月三十日、東京世田谷の下馬觀音寺境内で第一回東京きりたんぽ祭りが開催されました。会場には約五百人の人が訪れ、曲げわっぱ太鼓の響きを聞きながらきりたんぽを試食。「名前は知つてたけど、食べるのは初めて」という人が多かったものの、材料も大館産のものを使った本物のきりたんぽに、会場中で「おいしい!」の声があがりました。また、あきたこまちや地酒、比内鶏くんせいなどのプレゼントでも会場は大にぎわい。

大消費地首都圏における大館の“味”的PR、初回の評判は上々でした。

おいしくって大盛況

北で南で“あきたこまち”が好評です！

前略 このたびは
“あきたこまち”を
大変おいしくいた
だきました。秋田
はもう稻穀金色近
いことでしょう。
できれば新米を注
文したいと思いま
すが、よろしくお
願いいたします。

北海道から九州まで、全国各地
かしこへあきたこまちを発送

福岡県福岡市

山口美舟さん

「あきたこまち」をありがとうございました。
私の出身地大館で「米の日」とは、素晴らしい企
画ですね。評判のあきたこまちを家族三人で頂
きましたが、やっぱりおいしいです。佐賀出身
の夫におもわず自慢してしまいました。私もP
Rしますから大館でもがんばってください。



東京都府中市

山領 松美さん



市では今年から八月十八日を「米の日」と定めました。これにちなんで第一回目の今回は、皆さんから発送依頼があつた全国各地の方々八百十八人へあきたこまちをプレゼントしました。購入申し込み書を同封した結果、七十人以上の方から申し込みがあつたほか、試食後の感想等も多数寄せられ、PR効果も上々でした。

全国一斉
司法書士法律相談
(有浦保育園)

県司法書士会大館支部では、無料で法律相談を実施します。
お気軽にご相談ください。

○ 10月7日(土)
9時30分～15時30分

○ 10月8日(日)
9時30分～15時30分

○ 10月9日(月)
9時～15時

乳幼児の電話育児相談を次のとおり実施しています。お気軽にご相談ください。

○ 10月11日(水)
午前10時から午後1時まで

○ 10月12日(木)
午前10時から午後1時まで

○ 10月13日(金)
午前10時から午後1時まで

○ 10月14日(土)
午前10時から午後1時まで

○ 10月15日(日)
午前10時から午後1時まで

お母さん育児で悩んでいませんか



問い合わせ
の法律問題
県司法書士会大館支部
☎ 43-4788

手話通訳士試験の案内

受験資格・満20歳(一次試験現役在)以上で、3年程度の手話通訳経験者

試験日・一次(筆記)試験
△ 11月26日(日)
△ 12月1日(日)
△ 12月8日(日)
△ 12月15日(日)

△ 12月22日(日)
△ 12月29日(日)
△ 1月5日(日)

△ 1月12日(日)
△ 1月19日(日)
△ 1月26日(日)

△ 1月30日(日)

△ 1月31日(日)

△ 2月1日(日)

子供のしつけや体の発育などについての学習会や個別相談を行います。みなさまお説い合わせてご参加ください。

○ 10月3日(火)
午前10時から午後1時まで

第8回秋田県特産品開発コンクール作品募集

県では、新しい特産品の開発とその拡大を図るため、次のとおり作品を募集します。

<募集作品>

- ①観光土産品
- ②工芸品
- ③菓子・食料品
- ④金属工芸品
- ⑤陶器
- ⑥ギフトセット
- ⑦前記①～⑥のパッケージデザイン

<募集条件>

- ・未発表の作品で、応募者の創造性にあります。
- ・個人、企業及びグループを問いません。
- ・作品は現物または図面とし、応募点数に制限はありません。

△ 締め切り 10月5日(木)

*応募先、応募手続方法など詳細については、市觀光物産課(内線284)へ、お問い合わせください。

今年度二回目の「施設めぐり」は親子(子供は小学生以上)で参加できるよう、日曜日に実施します。この機会に市内にある施設をご覧になりませんか。



**親子でどうぞ
施設めぐり**

手話通訳士試験の案内

受験資格・満20歳(一次試験現役在)以上で、3年程度の手話通訳経験者

試験日・一次(筆記)試験
△ 11月26日(日)
△ 12月1日(日)
△ 12月8日(日)
△ 12月15日(日)

△ 12月22日(日)
△ 12月29日(日)
△ 1月5日(日)

△ 1月12日(日)
△ 1月19日(日)
△ 1月26日(日)

△ 1月30日(日)

△ 2月1日(日)

△ 2月8日(日)

△ 2月15日(日)

△ 2月22日(日)

△ 2月29日(日)

△ 3月5日(日)

▽ 申し込み及び問い合わせ
△ 申込締め切り
○ 11月30日(火)
△ 12月7日(火)
△ 12月14日(火)
△ 12月21日(火)
△ 1月4日(火)
△ 1月11日(火)
△ 1月18日(火)
△ 1月25日(火)
△ 2月1日(火)
△ 2月8日(火)
△ 2月15日(火)
△ 2月22日(火)
△ 2月29日(火)

△ 3月5日(火)

